

西尾市長賞

寝たきりの母の目線に吊し雛<sup>ひな</sup>一年がかりの吾の作品

友善ミドリ

西尾市議会議長賞

木漏れ日を背に受け老母は草を取る思ひ出抱へ悲しみ背負ひ

鈴木 薫

西尾市教育委員会賞

老いたれば畑の仕事は健康の原動力にて老いのレッスン

齋藤勝通

西尾文化協会長賞

わが婚に母より賜びしは数珠二連その数珠をもて母を葬る

小島日出世

愛三時報社賞

通院の不便さ頭過<sup>よ</sup>ぎりたる免許返上渋るこの頃

伊藤繁子

三河新報社賞

ひと抱<sup>みつき</sup>く三月の男孫をわが腕にこの児は知らず病臥の母を

谷川 清

和田賞

しあわせは努力感謝の積み重ね命輝く敬老日かな

小野田みよ子

膝痛の私に夫は馬ならば殺されとるぞと楽しげに言う

原田熙恵

盆柿は啄ばむ鳥の朝食かさぞ美味かろうその指定席

平山まちこ

佳作

除夜の鐘響く福島原子炉に一番近く百体地藏

吉見ひで

台風の近づくニュースにせかされて重き雨戸を娘としめる

濱嶋君江

農道のエノコロ草に囲まれて佇むわれは草のはらから

中村佐世子

二日の雨上がりて家中の布団干す泥の被災地心で詫びて

乙部妙子

台風ぞまた洪水ぞ令和こそ天変地異の無きこと願ふ

富永幸子

百年をかけて湧く水神秘的忍野八海藻草揺らせり

深見美千代

ガダルカナル殉国烈死一九才空蟬も鳴け夏草冬波<sup>なつくさふゆなみ</sup>

石川保一

月の光宿<sup>かげ</sup>る畑を黄の色に染めて安けし今宵一五夜

木下容子

もみじの手合わせて遊ぶ女の子病みたる地球を知るがごとく

原田ゆき子

くれなるの兜を冠る曼珠沙華土手に潜める若武者どちよ

谷口壽々榮

留守番電話亡き姉の声もう一度聞かんと今日も消去ためらう

鈴木マツエ

倒れても日に向かう茎背丈越し見上げる花は宇宙へ誘<sup>いざな</sup>う

田所ます子

四姉妹総年令は三〇八才鰻を食べて令和を生きる

川上信子

ゆつくりと磨りて墨の香懐しむ昭和生れの令和元年

榊原はる子